

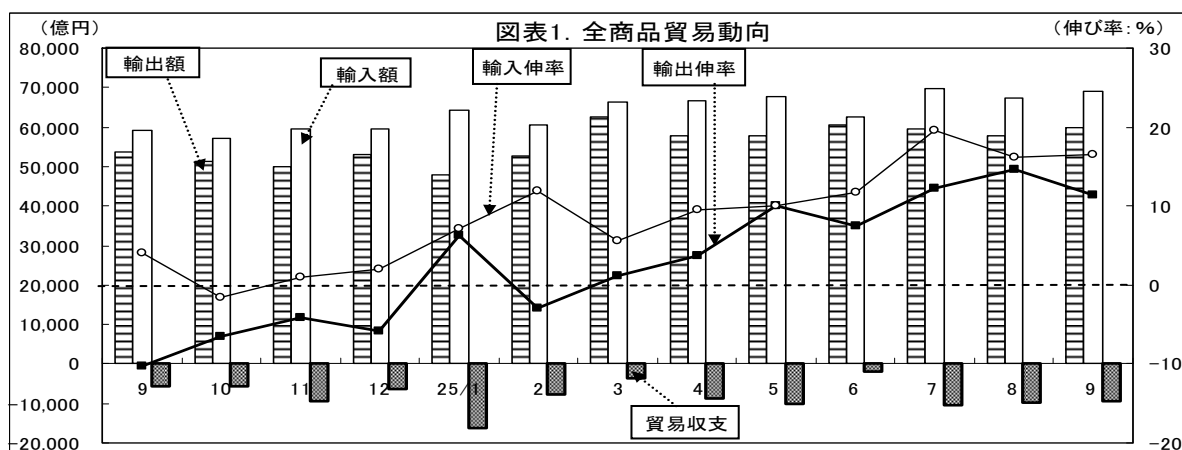
最近の機械貿易動向(9月)～機械輸出、2ヶ月連続二桁増なるも実質的伸びはマイナス～

日本機械輸出組合 2013.11.21.

平成25年9月の機械輸出額は3兆8,578億円、対前年同月比10.3%増と5ヶ月連続でプラスとなった。これは、①円安によって円建て輸出額が増加したこと、②米欧を中心に全ての地域向けでプラスになったこと、③機械輸出額の約36%を占める自動車の伸びが22.1%増となったことに加え、産業機械、通信機械等が二桁増になったことなどによる。為替・営業日が15.7%の増加要因であったことを考慮すると、実質的な伸び率は5.4%減とマイナスとなった。10月も円安が続き、営業日が同じため、合計15.4%の増加要因となる。仮に9月の機械輸出額の実質的伸び(5.4%減)が続くとすれば、前年比10.0%増と予想されたが、11月20日発表の貿易統計速報を基にした簡易計算では10月の機械輸出は17.7%増となった。

1. 全商品貿易動向～輸出は3ヶ月連続で二桁増、貿易収支は15ヶ月連続で赤字～

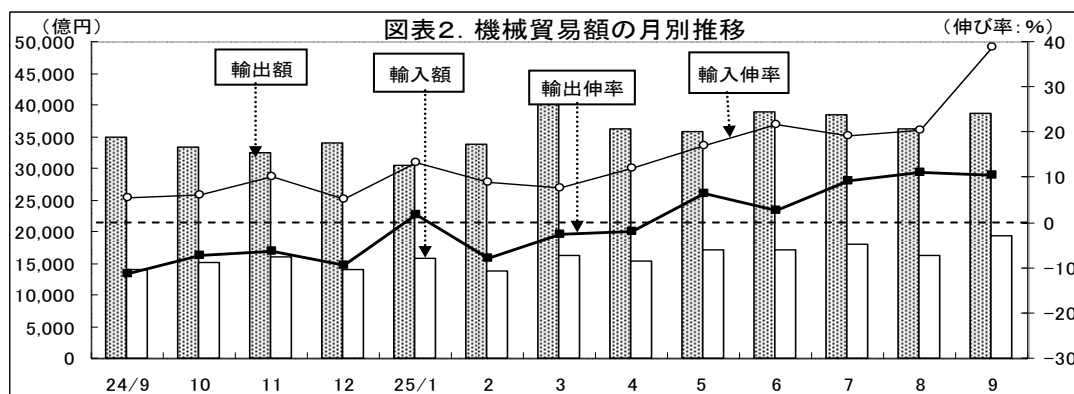
- 平成25年9月の全商品輸出額は**5兆9,719億円**、前年同月比(以下同じ)**11.5%増**と7ヶ月連続でプラスとなった(8月14.6%増)。これは円安による輸出額の拡大と全輸出額の約24%を占める自動車・同部品等輸送用機器(19.1%増)、約10%を占める化学製品(15.9%増)等の増加が寄与した。
- 輸入額は**6兆9,063億円**、**16.5%増**と11ヶ月連続のプラスとなった(8月16.0%増)。これは、円安効果に加え、全輸入額の約15%を占める半導体等電気機器(46.7%増)、約8%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(22.3%増)、約7%の鉄鉱石・非鉄金属鉱等原料品(35.5%増)、約4%の輸送用機器(27.1%増)等が増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は9,343億円の赤字で、昨年7月以降15ヵ月連続で、9月としては1979年以来最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出5ヶ月連続、輸入は13ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約65%を占める9月の機械輸出額は**3兆8,578億円**、**10.3%増**と2ヶ月連続で10%以上の伸びとなった(8月11.2%増)。しかし、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成19年9月)と比べると**76.8%**となり、前月よりむしろ3.8ポイント後退した(8月80.6%)。
- 一方、全商品輸入額の28%を占める機械輸入額は、**1兆9,318億円**、**38.8%増**と13ヶ月連続の増加で、9月は極めて高い水準となっている(8月20.5%増)。また、輸入額の水準は、リーマンショック以前の**125.5%**と6ヵ月連続して上回っている(8月105.1%)。

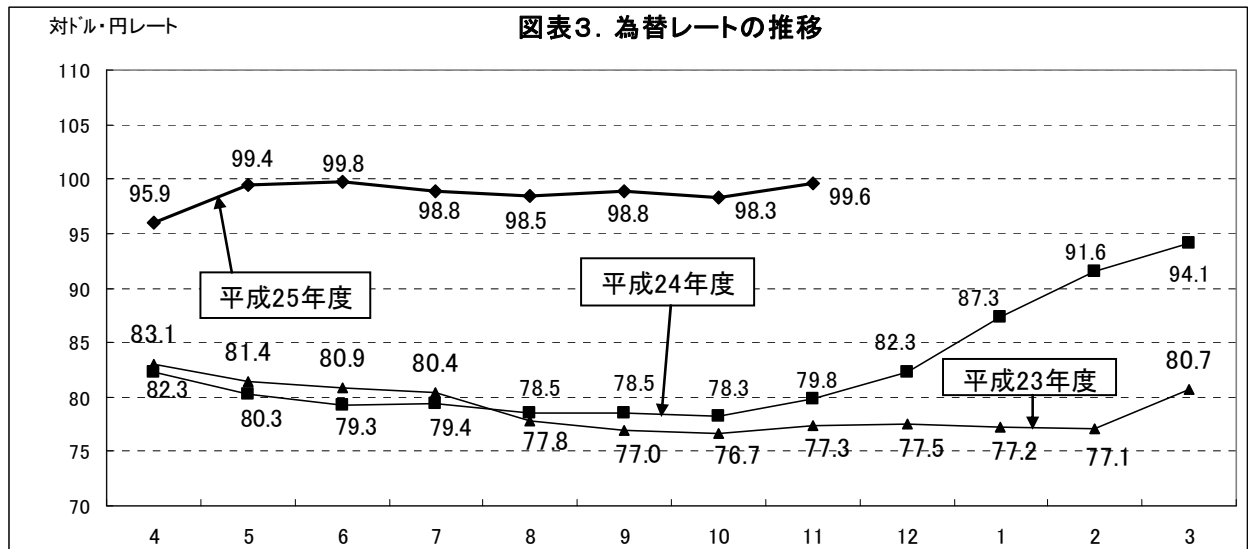


(2) 為替動向・営業日～9月は15.7%の大幅増加要因、10月は15.4%の増加要因～

1) 9月は1ドル=98.8円と円安が続き、前年に比べ25.9%の円安となった。また、対ユーロも131.3円と前年に対して32.6%と円安が進展し、合わせて約15.7%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計15.7%の増加要因となる。9月の輸出額は10.3%増であったことから、実質的伸び率は5.4%減とマイナスとなった(8月0.1%増)。

2) 10月は1ドル=98.3円と円安が続き、前年に比べ25.5%の円安となった。また、対ユーロでは133.0円で前年に対し30.9%の円安となり、合わせて約15.4%の為替増加要因となった。営業日は同じため、合計15.4%の増加要因となる。

3) 11月は、対ドルが11月13日17:00時点の99.6円とすれば、前年に比べて24.8%の円安、また、対ユーロも133.7円と30.1%の円安となり、合わせると約15.0%の為替増加要因となる。営業日は前年に比べて1日少ないため4.8%の減少要因となり、合計10.2%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米、EU、中国向けが二桁増、3ヶ月連続で全ての地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①機械輸出額の24.3%を占める北米向けでは、全体の約51%を占める自動車(35.1%増)、白物家電等軽電気機械(24.9%増)が増加、19.6%増となった。②11.8%を占めるEU向けは、全体の約34%を占める自動車(40.0%増)をはじめ、建設機械(35.2%増)、民生用部品(34.5%増)、工作機械(38.0%増)等が大幅にプラスとなり、16.9%増と4ヶ月連続でプラス。③16.8%を占める中国向けでは、自動車(26.9%増)、半導体製造装置等産業機械(28.5%増)、光学機械(20.1%増)等がプラスとなり、12.7%増となった。④20.5%を占めるその他地域向けは、大洋州(8.9%減)、インド(4.2%減)がマイナスとなったものの、中近東(21.5%増)、ロシア東欧等(20.6%増)が大幅増となり、機種では、全体の約58%を占める自動車(17.0%増)、産業機械(28.2%増)、重電気機械(38.9%増)等が大幅にプラスとなって9.4%増となった。⑤26.6%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けでは、韓国(18.6%増)が5ヶ月連続で10%超増加、香港(10.5%増)、ベトナム(15.6%増)向けが二桁増となり、業種では、自動車(6.0%減)がマイナスとなったものの、産業機械(7.8%増)、軽電気機械(2.5%増)等がプラスとなって0.1%増となった。

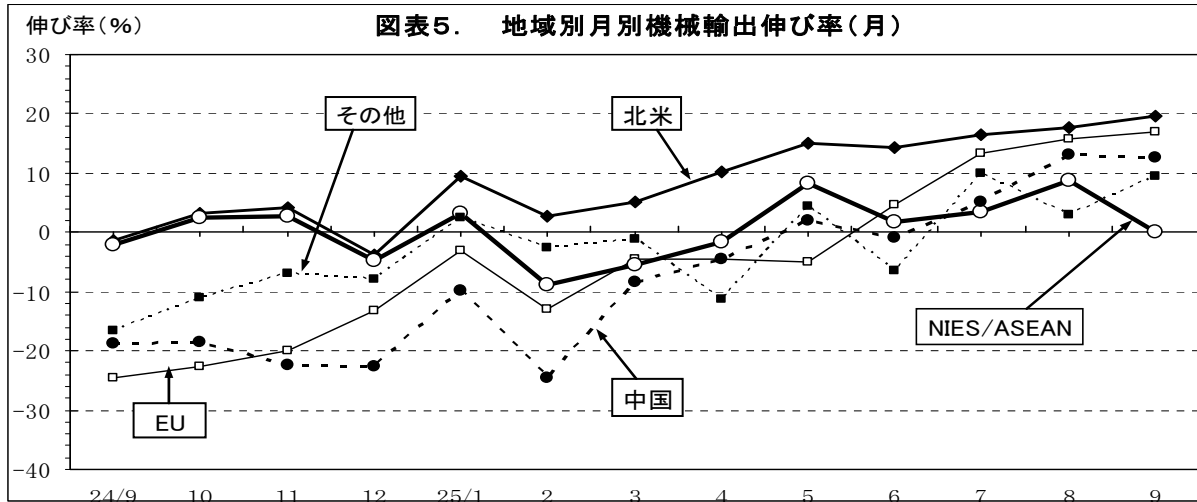
2) また、リーマンショック前の平成19年9月の地域別輸出額と比較すると、中国(99%)をはじめ、NIES/ASEAN(81%)、北米(80%)、その他地域(72%)、EU(55%)といずれも水準以下であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/7			2013/8			2013/9			対07年 9月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,378	9.1	100	36,325	11.2	100	38,578	10.3	100	0.77
北米	9,294	16.5	24.2	8,803	17.7	24.2	9,376	19.6	24.3	0.80
EU	4,072	13.2	10.6	3,886	15.9	10.7	4,547	16.9	11.8	0.55
NIES/ASEAN	10,264	3.5	26.7	10,294	8.7	28.3	10,279	0.1	26.6	0.81
中国	6,568	5.1	17.1	6,641	13.2	18.3	6,463	12.7	16.8	0.99
その他	8,180	10.0	21.3	6,702	2.9	18.4	7,914	9.4	20.5	0.72

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2013/6		2013/7		2013/8		2013/9	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,799	14.0	1,939	23.6	1,974	32.3	1,939	18.6
台湾	1,894	12.2	1,560	0.6	1,564	2.5	1,504	▲ 6.2
香港	1,674	2.4	1,601	11.8	1,593	9.8	1,648	10.5
タイ	2,030	1.1	1,895	1.0	1,770	▲ 0.8	1,721	▲ 14.2
シンガポール	917	▲ 13.9	807	0.7	848	14.1	830	4.7
インドネシア	955	▲ 6.5	752	▲ 12.5	893	9.4	877	▲ 5.3
マレーシア	701	▲ 11.6	660	▲ 7.7	629	▲ 10.0	703	▲ 8.2
フィリピン	518	▲ 7.0	528	▲ 6.6	506	1.5	532	▲ 4.5
ベトナム	385	7.0	423	▲ 7.3	423	19.2	429	15.6
その他地域								
中南米	2,372	▲ 19.8	2,931	24.6	1,840	▲ 10.0	2,422	10.7
中近東	1,594	7.8	1,633	15.6	1,430	16.2	1,753	21.5
大洋州	1,327	9.8	1,172	7.7	1,137	8.8	1,155	▲ 8.9
ロシア東欧等	1,270	2.6	1,253	▲ 5.5	1,160	2.6	1,310	20.6
アフリカ	697	▲ 26.8	716	▲ 1.1	642	20.9	801	9.8
インド	400	▲ 0.6	389	▲ 13.9	365	▲ 13.0	394	▲ 4.2

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～19 業種中 6 業種がマイナス、自動車は 6 ヶ月連続、産業機械は 5 ヶ月連続プラス～

- 業種別では、全 19 業種中 6 業種がマイナスで、前月に比べ 1 業種増加した。全体の約 36%を占める自動車(22.1%増)が 6 ヶ月連続、約 16%の産業機械(12.2%増)が 5 ヶ月連続でプラスとなったほか、繊維機械が 8 ヶ月連続、電子計算機が 4 ヶ月連続、通信機械も 2 ヶ月連続で二桁増となった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは医療機械、ベアリング、光学機械の 3 業種で、電子計算機、民生用電子機械は 40%台、産業車両、通信機械は 50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

機種名	2013/7			シエア	2013/8			シエア	2013/9			対07/9比
	金額	伸び率	シエア		機種名	金額	伸び率		シエア	機種名	金額	
自動車	13,596	13.6	35.4	自動車	12,141	18.4	33.4	自動車	13,946	22.1	36.2	0.82
産業機械	6,502	12.3	16.9	産業機械	6,424	10.7	17.7	産業機械	6,196	12.2	16.1	0.82
電子デバイス	3,139	14.8	8.2	電子デバイス	3,203	13.2	8.8	電子デバイス	3,052	1.3	7.9	0.64
軽電気機械	1,980	7.7	5.2	軽電気機械	1,959	8.8	5.4	軽電気機械	2,039	5.3	5.3	0.76
重電気機械	1,856	4.3	4.8	重電気機械	1,860	9.7	5.1	重電気機械	1,850	4.1	4.8	0.85
船舶	1,684	17.3	4.4	民生用電子機械	1,696	▲ 2.6	4.7	民生用電子機械	1,786	▲ 1.0	4.6	0.46
民生用電子機械	1,558	▲ 10.2	4.1	光学機械	1,447	10.4	4.0	軽機械	1,418	5.6	3.7	0.75
軽機械	1,387	2.9	3.6	軽機械	1,416	11.0	3.9	光学機械	1,397	▲ 1.3	3.6	1.06
光学機械	1,324	4.6	3.4	船舶	891	▲ 20.2	2.5	船舶	1,309	▲ 13.7	3.4	0.74
建設機械	1,011	▲ 10.2	2.6	建設機械	827	▲ 12.5	2.3	建設機械	955	▲ 7.0	2.5	0.72
工作機械	703	▲ 26.5	1.8	工作機械	745	▲ 19.8	2.1	工作機械	715	▲ 15.5	1.9	0.80
電子計算機	460	24.0	1.2	通信機械	485	32.9	1.3	通信機械	635	44.6	1.6	0.58
通信機械	400	3.0	1.0	電子計算機	470	29.9	1.3	電子計算機	520	29.9	1.3	0.42
ベアリング	393	7.4	1.0	ベアリング	364	9.8	1.0	医療機械	399	4.0	1.0	1.45
医療機械	330	14.5	0.9	医療機械	352	29.5	1.0	ベアリング	368	5.7	1.0	1.08
陸用内燃機関	330	5.5	0.9	陸用内燃機関	326	6.0	0.9	陸用内燃機関	336	3.0	0.9	0.88
繊維機械	226	55.9	0.6	繊維機械	194	42.1	0.5	繊維機械	211	34.1	0.5	0.89
農業機械	154	13.2	0.4	農業機械	150	20.5	0.4	農業機械	155	2.1	0.4	0.74
産業車両	128	0.0	0.3	産業車両	107	▲ 1.0	0.3	産業車両	120	▲ 6.6	0.3	0.56
19業種合計	37,161		96.8	19業種合計	35,057		96.5	19業種合計	37,407		97.0	0.76

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～通信機械、繊維機械等が大幅増加、発電機、デジカメ・ビデオ等は大幅減～

1) 9月で10%以上の伸び率を示した機種は、①中国、NIES/ASEAN 向け**通信機械**(44.6%増)、②中国、その他地域、NIES/ASEAN 向け**繊維機械**(34.1%増)、③北米、その他地域向け**乗用車**(33.9%増)、④NIES/ASEAN、中国、その他地域向け**風水力機械**(30.9%増)、⑤北米、NIES/ASEAN、中国向け**電子計算機**(29.9%増)、⑥NIES/ASEAN 向け**原動力機械**(29.5%増)、⑦NIES/ASEAN、中国向け**電池**(27.1%増)、⑧NIES/ASEAN 向け**運搬機械**(18.9%増)、⑨NIES/ASEAN、中国向け**半導体製造装置**(16.8%増)、⑩中国、EU 向け**産業用ロボット**(15.9%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、発電機(25.7%減)、デジカメ・ビデオ(21.5%減)、工作機械(15.5%減)、時計(14.7%減)、船舶(13.7%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位: 億円)

2013/7			2013/8			2013/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	226	55.9	繊維機械	194	42.1	通信機械	635	44.6
半導体製造装置	1,217	33.6	原動力機械	539	36.2	繊維機械	211	34.1
TV	83	24.9	通信機械	485	32.9	乗用車	8,199	33.9
風水力機械	726	24.8	電子計算機	470	29.9	風水力機械	739	30.9
電子計算機	460	24.0	医療機械	352	29.5	電子計算機	520	29.9
電池	215	19.3	乗用車	6,818	23.4	原動力機械	501	29.5
電子応用装置	64	18.3	産業用ロボット	100	23.2	電池	221	27.1
船舶	1,684	17.3	TV	84	22.1	運搬機械	236	18.9
乗用車	7,967	17.0	農業機械	150	20.5	半導体製造装置	941	16.8
電子デバイス	3,139	14.8	バルブ・コック	371	18.4	産業用ロボット	110	15.9
機種合計	15,781	41.1%	機種合計	9,563	26.3%	機種合計	12,313	31.9%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円)

2013/7			2013/8			2013/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	73	▲ 57.0	発電機	91	▲ 25.3	発電機	91	▲ 25.7
デジカメ・ビデオ	484	▲ 31.3	船舶	891	▲ 20.2	デジカメ・ビデオ	565	▲ 21.5
工作機械	703	▲ 26.5	工作機械	745	▲ 19.8	工作機械	715	▲ 15.5
録画・再生機器	10	▲ 18.3	電子応用装置	40	▲ 17.1	時計	96	▲ 14.7
エアコン	8	▲ 12.0	金属加工機械	302	▲ 16.0	船舶	1,309	▲ 13.7
建設機械	1,011	▲ 10.2	デジカメ・ビデオ	552	▲ 12.7	機種合計	2,776	7.2%
機種合計	2,289	6.0%	建設機械	827	▲ 12.5	機種合計	3,448	9.5%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6) 機械輸入動向～携帯電話、電子デバイス、電子計算機が大幅増、減少機種はない～

1) 9月の機械輸入伸び率は38.8%増と13ヶ月連続でプラスとなり、円安効果と国内需要増を反映して極めて高い伸びとなった。これは、携帯電話(101.5%増)が前年比2倍以上に伸びて最大輸入機種となり、電子デバイス(58.8%増)、電子計算機(28.5%増)、自動車部品(46.1%増)、乗用車(22.8%増)、航空機類(22.1%増)の上位機種が高い伸びとなった。この他30%以上の伸びを示した機種は、白物家電(30.2%増)、分析・試験・検査機(51.4%増)、民生用電子部品(33.0%増)、時計(42.8%増)であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、携帯電話、電子計算機、白物家電、医療機械、時計、TV、ラジオ、録画・再生機器となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の45%を占める中国(44.8%増)、EU(48.2%増)、北米(29.3%増)、ASEAN(25.3%増)、韓国・台湾(32.9%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2013/7				2013/8				2013/9			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,206	41.0	12.2	電子デバイス	2,149	44.9	13.2	携帯電話	2,571	101.5	13.3
電子計算機	1,982	24.8	11.0	電子計算機	1,599	12.8	9.8	電子デバイス	2,377	58.8	12.3
乗用車	1,066	40.8	5.9	乗用車	881	1.4	5.4	電子計算機	1,814	28.5	9.4
自動車部品	959	9.7	5.3	自動車部品	864	31.7	5.3	自動車部品	967	46.1	5.0
白物家電	865	24.5	4.8	携帯電話	700	10.4	4.3	乗用車	834	22.8	4.3
航空機類	661	61.9	3.7	航空機類	630	40.2	3.9	航空機類	696	22.1	3.6
携帯電話	646	▲ 25.1	3.6	白物家電	613	22.1	3.8	白物家電	598	30.2	3.1
医療機械	581	12.8	3.2	医療機械	546	12.1	3.4	医療機械	565	22.9	2.9
光学機械	396	1.5	2.2	民生用電子部品	363	21.7	2.2	分析・試験・検査機	425	51.4	2.2
民生用電子部品	375	▲ 1.1	2.1	分析・試験・検査機	320	26.4	2.0	民生用電子部品	358	33.0	1.9
風水力機械	336	36.1	1.9	光学機械	309	▲ 10.7	1.9	光学機械	346	0.0	1.8
分析・試験・検査機	335	31.8	1.9	風水力機械	261	26.9	1.6	時計	280	42.8	1.4
12機種合計	10,408		57.8	12機種合計	9,235		56.8	12機種合計	11,831		61.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械